



都内訪問看護ステーション・看護小規模多機能型居宅介護事業所 対象

東京都委託事業 令和2年度

訪問看護師オンデマンド研修事業

「いつでもどこでも訪問看護研修(eラーニング)」
「復職や育児、介護と仕事の両立についての相談」
「ONLINEによる勉強会(11月21日)」

申込受付中

参加無料

本事業は、東京都が一般社団法人東京都訪問看護ステーション協会に委託して実施しています。

訪問看護師が、育児や家族の介護等をしながらでもスキルアップできるように、「訪問看護師オンデマンド研修事業」として、eラーニング等による支援を実施しています。参加無料ですので、ぜひお気軽にご参加ください!

受講対象 となる方

- 休職中の看護職(育児休業、病気休業など)
 - 育児・介護中等の看護職(常勤・非常勤・短時間勤務など勤務形態は問いません。)
- 都内訪問看護ステーション・看護小規模多機能型居宅介護事業所に所属している方に限ります。

いつでもどこでも訪問看護研修



eラーニング 「いつでもどこでも訪問看護研修」項目は裏面へ!!

eラーニング申込方法

東京都訪問看護ステーション協会ホームページ「訪問看護師オンデマンド研修事業」サイトから管理者が受講希望者分をまとめてお申込みください。(URL <https://tokyohoukan-st.jp/ondemand.html>)

⇒受講者と管理者に、ID、パスワードを発行します。

eラーニング項目については裏面をご覧ください!!(1項目15分程度、受講項目は自由に選択可能です!)

勉強会 ONLINEを活用(ご自宅、職場から参加できます)

テーマ ① 座談会 「ウィズコロナと多職種連携」

コーディネーター 鈴木 央(鈴木医院)

パネリスト 荏司 輝昭(立川在宅ケアクリニック) 加藤 陽子(株式会社エンパワーメント 環介護センター)
伊藤 磨理(山の上ナースステーション)

② 交流会 ~育児・介護と仕事の両立について~

日時 11月21日(土) 13:30~15:00

対象者 休職中や育児・介護中などの看護職、オンデマンド研修に登録事業所の管理者

参加方法 ZOOM利用(参加申込者には、5日前に紹介状をメールにて送ります。)

相談 受付

- ・第2、第4水曜日 13:30~15:00(メールまたは電話)
- ・復職や育児、介護と仕事の両立についての相談
- ・上記対象者に加え、その所属するST管理者も可能

申込締切：前週金曜日まで

問合せ 申込先

一般社団法人東京都訪問看護ステーション協会 事務局
TEL:03-5843-5930 FAX:03-5843-5932 E-mail:info@tokyohoukan-st.jp

その他

勉強会への参加、相談にはeラーニングの受講申込が必要です。
詳細は、下記実施団体ホームページをご覧ください。

ホームページの ご案内

- 一般社団法人東京都訪問看護ステーション協会 <https://tokyohoukan-st.jp/ondemand.html>
- 東京都福祉保健局高齢社会対策部 在宅支援課 介護医療連携推進担当 電話:03-5320-4216
東京都福祉保健局HP:高齢者 > 介護保険 > 訪問看護推進総合事業 > 【訪問看護師オンデマンド研修事業】
<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/kourei/hoken/houkan/ondemand.html>

＊ eラーニングについて「いつでもどこでも訪問看護研修」

—他では学べない東京の訪問看護ならではの内容です—

▶実施期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日

▶研修内容：下記10項目を現在提供しています

項目	内容
「いつもと何かが違う？」 ～何となくぼーっとしている～	訪問看護師が訪問した時に、何となくいつもと違うと感じた利用者の状態等に対して、何を疑い、何を聞いて診る、どう判断し、どう対処を行うかを学習する（ケース①）
「いつもと何かが違う？」 ～金曜日の夕方 発熱 37.5℃～	訪問看護師が訪問した時に、何となくいつもと違うと感じた利用者の状態等に対して、何を疑い、何を聞いて診る、どう判断し、どう対処を行うかを学習する（ケース②）
ベテラン看護師は何を見ているか？	①どのような情報をどのように得て、アセスメントにつなげるのかを理解する ②利用者の療養生活の外から見える状況から、訪問看護師が五感を使って観察し、感じとっていることを学ぶ
訪問看護師の雑談には、意味がある	①どのような情報をどのように得て、アセスメントにつなげるのかを理解する ②生活の中の会話から、質問攻めでないコミュニケーションで、必要な情報を取得していく方法を学ぶ
言葉での意思表示が難しい人の うまい具合の座り方	言葉での意思表示が難しい利用者に対して、姿勢をアセスメントして、よりよい座り方を考え整える技術を知ることを目指す
利用者からの電話にどう対応するか	①顔の見えない電話の相手の話から、状況をアセスメントし対応にどう結び付けるかを考える ②緊急電話への対応方法について、プロセスレコードから学ぶ
本人と家族の意向が異なる 意思決定支援	人生における意思決定には多くの場合支援することが必要であること、相手の決定を待つだけではなく関わり続けることが必要であること等、意思決定を支えるために基本的な知識を学ぶ
医療処置や身体的ケアの少ない人への訪問看護は何をすればいいの？	①見た目は元気だが、看護が入らないと健康状態が悪化するであろう利用者への療養指導について理解する ②利用者のもてる力・健康な力を活かし、支える訪問看護師の具体的な関わり方を学ぶ
子育てや介護と仕事を マネジメントする	子育てや介護、就学などライフワークバランスの両立への実際の取組や知見など、訪問看護師の働き方の事例を通し、自分らしい訪問看護師としての働き方とキャリアを考える
医師とどう話す？ ケアマネとどう話す？	多職種連携に関して、医師、ケアマネジャーからの意見を聞き、連携のポイントを学ぶ

令和2年11月ころから下記研修を追加していきます

項目	内容
「いつもと何かが違う」 ～何となくやせたかな～	訪問看護師が訪問した時に、何となくいつもと違うと感じた利用者の状態等に対して、何を疑い、何を聞いてみる、どう判断し、どう対処を行うかを学習する
ベテラン看護師は何を見ているか ～看護としての清潔ケア～	①どのような情報をどのように得て、アセスメントにつなげるのかを理解する ②利用者の療養生活から見える状況から、訪問看護師が五感を使って観察し、感じ取っていることを学ぶ
訪問看護におけるハラスメント対策	訪問看護師が訪問看護を提供する場面で遭遇するハラスメントの特徴を理解し、受ける側にもなりうることを知り予防、対応する力を習得する
医療依存度の高い児のケアについて	小児から高齢者までを対象としている一般の訪問看護ステーションの医療ケアの必要な小児への対応の現状について学ぶ
訪問看護における感染対策	感染に対する基本的な知識を確認し、在宅における特徴を踏まえた上で平時から対策を実施するとともに、特にウィズコロナの今における感染対策も学ぶ。
看護基礎教育のこれからについて	2022年度からカリキュラムが改定される。 それに伴う在宅看護実習について、今後の在り方を考える。